

大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会総会及び福祉委員会

大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会の総会は、令和5年6月10日（土）10:00～ひまわりプラザ2階学習室に於いて開催されました。委員総数48名中出席者は39名（委任状は11名）でした。

総会は高橋会長の挨拶のあと議題に移り令和4年度事業報告及び決算、令和5年度事業計画（案）及び予算（案）が提出され原案通り可決承認されました。その他新規に委員になられた方の委嘱状の交付や風早北部エリアとの地区社協統合に関する検討状況の報告がありました。令和6年度からは、風早北部地区社会福祉協議会として新たなスタートになります。

福祉委員会は、令和5年6月17日（土）14:00～ひまわりプラザ2階学習室で福祉員71名中49名の出席で開催されました。新規福祉委員の委嘱状の交付のあと令和5年度大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会総会の報告、令和4年度福祉委員活動報告その後、丁目ごとに分かれて担当地域の確認と情報交換を行いました。



子供食堂ひまわりっこ

令和2年9月、地域の課題を地域住民で話し合い、社会資源などを作り出す目的で行われた「風早北部地域支えあい会議」から生まれたのがひまわりっこです。

会議のすぐ後に立ち上げ準備委員会も発足しましたが、コロナの感染拡大でなかなかオープンにこぎ着けず、令和3年5月よりようやく活動を開始できました。

当初は大井のディサービスひまわりのディールームで、6人の子どもたちの来店が始まりました。しかし、コロナの感染拡大に伴い重症化のリスクが高い高齢者が利用する場所での活動は困難と判断し、食堂の継続を一時中断することに。そんな中でも出来ることを探し、不定期にフードパントリーを開催して来ました。福祉センターの調理室を借りてお弁当を50食作り、地域の農家さんの野菜などを頂き、ひまわりプラザのふるさと協議会の事務所前でそれらを配付しました。ひまわりプラザのお部屋をお借りすることが出来るようになってからは隔週で子どもサロンを開催することが出来るようになりました。まだ館内での飲食が出来ませんでしたので、子どもたちには帰りにお弁当とお野菜をお土産で持って帰ってもらうことにしました。

令和3年度は延べ414名にお弁当や食事を配布し、令和4年度は1,093人にその数を増やしています。今年も、第1・第3（土）13:00からフードパントリー、第2・第4（金）16:00から19:00まで子どもサロンの活動を続けています。これからも地域の課題を地域の皆さんと一緒に解決しながら、ひまわりっこの新たな活動に繋がられるようにしたいと思っています。これからも応援を宜しくお願い致します。

ひまわりっこ副代表 下大澤雅子



子どもサロンで遊ぶ子供達
父兄も来てくれています



フードパントリーの様子